

政和会だより

令和2年4月号

6月議会は6/2開会(予定)

市議会では、本会議の様子をインターネット配信しています。



2019年11月の市議会議員選挙により、皆様より多くのご支援を頂き、加藤ただし 並びに山中敏正は市議会議員として活動を開始致しました。新しく会派を結成し「政和会」として桶川市民皆さまの生命と財産を守り、元気で安心・安全な桶川市を構築するため全力で行動し実行します。これからもより一層のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

発行：桶川市議会 政和会 発行責任者：加藤ただし



桶川市議会議員(3期目)

加藤ただし

総務常任委員会
議会運営委員会
上尾・桶川・伊奈衛生組合議会副議長
〒363-0016 桶川市寿1-3-7
TEL・FAX: 048-771-2750

E-mail: aaki@jcom.zaq.ne.jp



桶川市議会議員(1期目)

山中敏正

建設文教常任委員会
議会だより編集委員会
埼玉県央広域事務組合議会
〒363-0027 桶川市川田谷2290-1
TEL: 048-787-3796 FAX: 048-787-3796

<https://www.yamanaka-toshimasa.com/>



加藤ただし

一般質問より桶川市へ提案及び提言の成果

これからのごみ処理について

質問

2018年度まで環境センターでの処理と比較し予算ベースで約3億円多く歳出している。中部資源循環組合の解散により、期間が不確定であることから当市のごみ処理の方向性を早急に検討する必要がある。同時に地域の方に丁寧な説明をして環境センターの再稼働の可能性を検討する必要がある。

答弁

調査をして再稼働の可能性について検討します。

駅東口整備事業について

質問

■南小跡地(ことぶき広場)利用について

周辺道路の検討や設計、警察協議が進められているが、都市計画の見直しや変更もあり、今後の取り組みを早急に進めるよう要望する。

答弁

道路整備計画のもと道路整備や下水道等のインフラ整備を早期に行い、コンセプトや利活用、整備手法の決定をしてことぶき広場整備を行います。

質問

■下水道整備について

出来るところから整備を進めて頂くよう要望する。

答弁

2020年度より、一番街通りから早期に進めます。

質問

■仮ロータリーの拡張について

遅い時間や雨の日など、仮ロータリーに入れず駅通りに停車する送迎車が増加しており、歩行者や自転車の安全が担保できない為提案する。

答弁

駅改修の資材置き場が空いたタイミングで拡張しますが、少しでも停車スペースが確保できるよう早急に対応します。

保育のあり方について

質問

■公設保育所のあり方検討会について

民営と公営の費用負担の差額は3億4千万円もあり、いずみの学園のインクルシブ教育化の導入など検討すべき課題もある。これからの子育て環境の確保や財政改革も考慮し、東西2施設とし2施設を民営とする方向を提案する。

答弁

公立保育所等の適正規模など、公設保育所のあり方検討会にて議論します。

質問

■保育士の求人に伴う国や県からの家賃補助制度について

国・県の支援事業を利用し、宿舍を市内の賃貸住宅を事業主が借り上げることにより、住民票が移り人口が増え市民税も歳入としてはいることから積極的に活用すべきと考える。

答弁

2020年度より実施に向け検討します。(2020年度当初予算に事業化となる)

子どもの予防医療について

質問

■就学前と就学後の歯の健康の取り組みについて

就学前の子どもの乳歯の健康を維持するため、一回目の費用負担を助成し予防医療を受けやすい環境を作って頂きたい。また、就学後の子どもの歯の健康を維持するため、埼玉県の助成事業であるフッ化物洗口を取り組んで頂きたい。

答弁

就学前については、受けやすい環境を検討します。就学後の取り組みについては、実施方法などについて学校と調整します。



山中敏正

安心できるまちづくり活動報告

やわらかな春光に心躍る季節となり、皆様におかれましては、ますますご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。昨年の12月より桶川市議会議員として早4カ月が過ぎようとしております。平成から令和へと変わり、桶川市も新たな時代に向けたまちづくりに取り組んでいかなければなりません。その中でも、これまで広域で進めてきたごみ焼却施設の建設に向けた9市町村からなる一部事務組合が3月で解散することから、本市におけるごみ焼却施設の方向性を決めていくことが重要な課題であります。令和2年度におきましては、希少性の高い遺構である、旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場を保存し、平和を発信する施設として今夏に「桶川飛行学校平和祈念館」が開館いたします。そして、地域の魅力発信、産業の振興、災害時の防災拠点機能を目的とした、「道の駅おけがわ」におきましても、整備事業者選定等支援委託を実施し設計・工事・維持管理・運営を一括して行う事業者の選定を行ってまいります。多くの課題はありますが、これらの事業推進に向けて一歩ずつ、市民の皆様と共に取り組んでまいりますので、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和元年12月の定例会にて、一般質問をいたしました内容をご紹介します。

災害対策について

質問

台風19号を経験し、災害対策に関して教訓とすべき点は？

答弁

本部と避難所との情報共有のあり方です。

避難所に対して、避難者の方が知りたい情報を迅速にそして正確に提供できるよう、検討が必要であると考えております。2点目は、ペットを同伴された方への対応で、具体的な受け入れ方法について、各避難所の施設に応じた検討が必要であると考えております。3点目は道路に関する情報提供で、道路の冠水情報がわからなかったため、通れる道路を探すのに時間がかかったとの声を頂きました。

いつ何時起こりうるか分からない災害に対して、避難勧告等の周知につきましては、対象となる地区の区長さんや民生委員さん、避難所となる施設の管理者との更なる連携が必要となってきます。

質問

江川水域の水害対策として、宮下樋管の改修について伺います。

答弁

江川改修促進協議会の要望活動を通じてお願いをしております。

宮下樋管の改修につきましては、現在、河川管理者の埼玉県が江川の河川整備計画の見直しのための水理解析などの作業を進めております。今後も一日も早く事業に着手できるよう、埼玉県に対し計画の早期取りまとめを要望するとともに、樋管を管理する荒川

上流管理事務所に対しても、速やかに樋管の改修に取り組んでいただけるようお願いをしております。

道の駅おけがわについて

質問

『賢い料金』への取り組みについて伺います。

答弁

国とも調整をしております。

首都圏中央連絡自動車道をおりて道の駅で休憩し、一時間以内に同インターチェンジから戻ると乗り続けたのと同じ料金となり、割高にならない料金への導入について、現時点におきましては未定でございますが、道の駅事業地は桶川・北本インターチェンジのすぐ近くに位置しており、このサービスが導入されれば、圏央道の利用者が、桶川の道の駅に立ち寄りやすくなると考えておりますので、国とも調整をしております。

高速道再入場 3時間以内に

国土交通省は、高速道路から出て道の駅を利用後、同じインターチェンジ(IC)なら高速へ「再入場」しやすくします。現在は一時間以内に戻らないと料金が割高になるが、2020年度中に3時間以内に延長します。この仕組みを利用するには、従来の自動料金収受システム(ETC)ではなく、車両の位置を発信したり渋滞情報を受信したりできる「ETC2.0」に対応した機器が必要となります。

旧熊谷陸軍飛行学校 桶川分教場について

質問

戦争遺産である飛行学校を管理していくためには、国の重要文化財の指定は必要であるが、如何ですか。

答弁

飛行学校が文化財としての価値があることを文化庁に知ってもらう必要がございます。

国の重要文化財に指定されるためには、幅広い周知活動が必要であり、今後パンフレットやポスターを近隣市町村や全国の類似施設などへ配布することや、開館のお知らせや企画展示などを開催する際には、市のホームページや、マスコミ各社へ情報提供を行うなどさまざまな手法を通じて、平和祈念館を広く周知してまいります。また、各種の事業を実施することにより、平和祈念館への注目が集まれば、自然と文化庁の担当者の目にも留まりやすくなるのではと考えています。そのためにも、開館後の事業を積極的に推進できるよう努めてまいります。